

なまえ
名前

○ ねん 年 ○ くみ 組 ○ ○ ○ ○

スバル 群馬製作所「矢島工場」（群馬県太田市庄屋町1-1）

バーチャル工場見学をしながら、まなびのまとめを作ってみましょう！わからない部分や、もう一度知りたい場所などは、マウスで操作して、何度でも確認ができます。



工場全体のまとめ

「プレス工場」、「ボディ工場（ボディ溶接組立工場）」、「トリム（最終部品取付）工場」、それぞれでどのような作業がされていたかな？

- 「プレス工場」→ロール状の鉄板を切断し、車の部品をつくっている。大きな力のプレス機（タンデムプレス機、トランスファープレス機）で、鉄板を切ったり曲げたり、穴をあけたりしている。
- 「ボディ工場（ボディ溶接組立工場）」→プレス工場ですでにできた部品を組み立てて、車の骨組みをつくっている。主にロボットが、溶接作業や、接着剤を塗る作業、部品を運ぶ作業などを行っている。
- 「トリム（最終部品取付）工場」→ハンドル、シート、エンジンなどの部品を、車のボディに取り付け、完成した車に仕上げていく。部品の取り付け後は走行のテストなど厳しい検査を受けてから完成する。



工場見学の中で出てきた「数字」

工場ではたらくロボットの数や1台の車にとりつける部品の数など、数字をメモしておきましょう。

- 約1,200台→この工場で働くロボットの数。自動化率は99%。
- 128工程→エンジンなどを車のボディに取りつけていく作業の工程数。ラインの長さは1kmにもおよぶ。
- 約6,000種類、30,000点の部品→1台の車に取りつける部品の数。



見学の感想

おもしろかったところや、はじめて知ったことなどを、その理由とあわせて書いてみましょう。

ロール状の鉄板から車が出来上がっていく様子を見れて、とても楽しかった。1台の車が、これほど様々な工程を経て完成することを初めて知った。最後の検査は項目が多く驚いた。また、ロボットは溶接したり、塗ったりなどの作業を行っており、最後のチェックや細かい組み立てなどは、手作業で行われていることを知った。人々の命を預かる「車」のチェックは、工場の人たちの確認が欠かせないのだと思った。今度、家族で車に乗るときは、ハンドルやシートなどを意識して見てみようと思う。



未来の車を考えてみよう

自分だったら、将来、どのような車をつくってみたいかな？自由に考えてみましょう。

自動ブレーキや自動運転の技術が日々進歩しているので、空を飛べる車や、海を渡れる車などができれば面白いと思う。空が飛べれば渋滞する道路で待っている必要もないので、いろんなところに早く行けるようになると思う。